環境活動レポート

2019

作 成 : 2019 年 7 月 29 日

Time with pride.

ひたむきに、歩み続ける。

MOONSTAR

目次

1.事業活動の概要

2.対象期間・対象範囲

3.ISO14001 認証

4.環境方針

5.環境体制の組織図

6.環境目標と実績

7.主な環境活動

8.環境関連法規の順守状況

1.事業活動の概要

事業所名：株式会社ムーンスター
代表取締役：猪山　渡
創　業：明治 6 年（1873 年）10 月 20 日
資本金：13 億円
売上高：370 億円（平成 30 年 6 月期）
従業員：881 名（平成 30 年 6 月期）
業　種：スニーカー、紳士靴、婦人靴、スポーツ用品の製造・販売
経営理念：すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために
ホームページ：　http://www.moonstar.co.jp/

2.対象期間・適用範囲

対象期間：2018 年 7 月 1 日～2019 年 6 月 30 日
適用範囲：福岡県久留米市白山町 60 番地
活動範囲：靴の設計・開発及び製造

3.ISO14001：2015　認証

登録認証番号：JQA－EM1141
登録事業者：株式会社ムーンスター
本社
福岡県久留米市白山町 60 番地
登 録 日：2000 年 12 月 1 日
有効期限：2021 年 11 月 30 日

4.環境方針

株式会社ムーンスターは“すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために”を経営理念として、全てのお客様が「笑顔」になれる靴、「しあわせ」を感じる靴をお届けできるよう全社一丸となって取り組んで参ります。

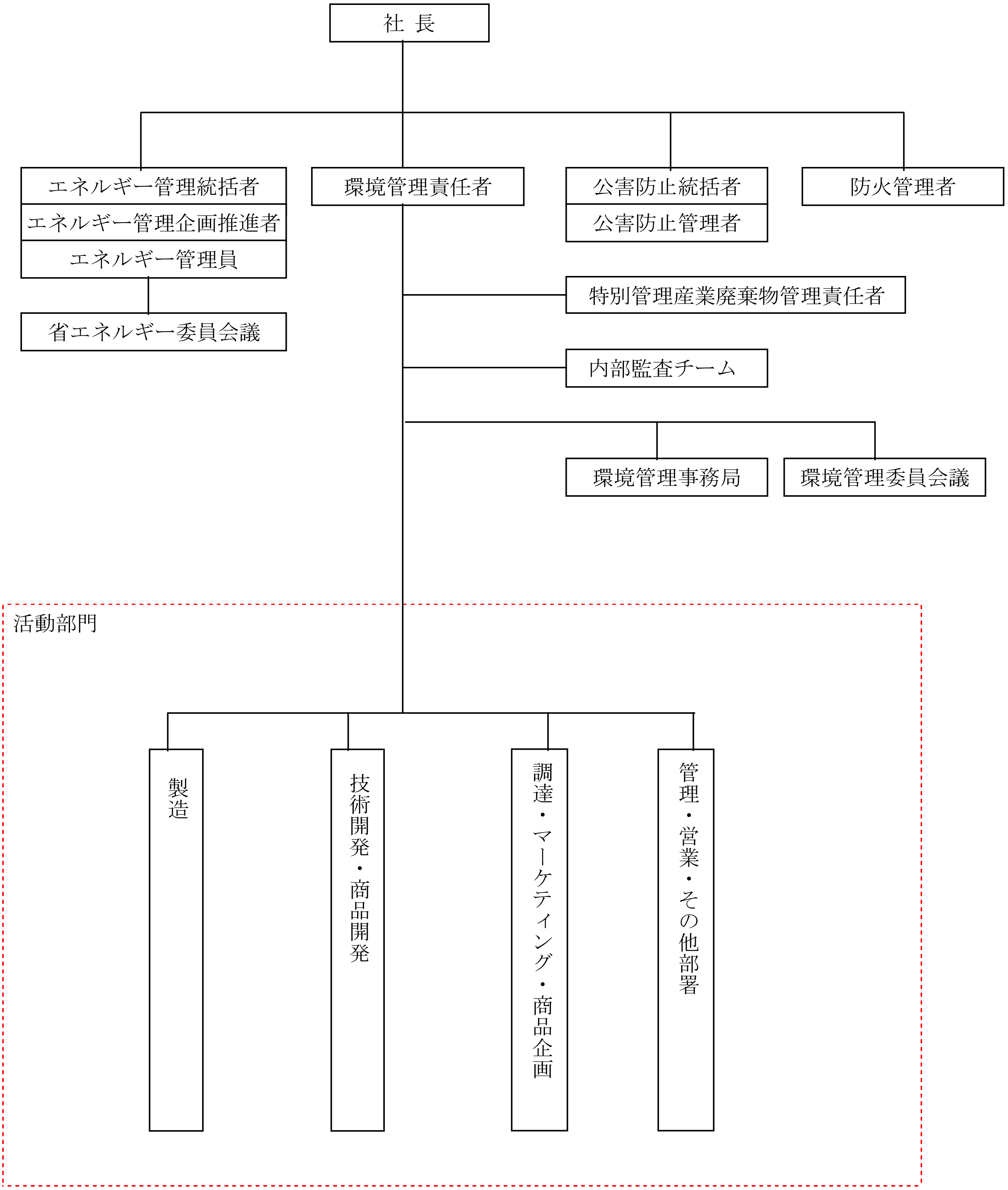
そして、環境に優しい事業活動を全員参加で取り組み、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に努めます。

1．事業活動による環境影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境の汚染予防と継続的な改善に取り組みます。
2．環境法令・協定及び同意するその他の要求事項を遵守します。
3．靴の開発から生産、消費、廃棄に至るすべての段階に考慮した環境負荷の低減を図っていきます。
4．環境負荷低減型の商品作りを進めます。
5．省エネルギー、省資源、廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。

この環境方針は、社内に周知徹底するとともに一般の方々にも公開します。

平成 26 年４月1日
株式会社ムーンスター
代表取締役社長　**猪山　渡**

5.環境体制の組織図


社 長
エネルギー管理統括者
エネルギー管理企画推進者
エネルギー管理員
省エネルギー委員会議
環境管理責任者
公害防止統括者
公害防止管理者
防火管理者
特別管理産業廃棄物管理責任者
内部監査チーム
環境管理事務局
環境管理委員会議
活動部門
製造
技術開発・商品開発
調達・マーケティング・商品企画
管理・営業・その他部署

6. 環境目標と実績

各グループにて目標を設定し活動を実施しました。
下記は環境に関係の深い代表的な取り組みの目標達成状況です。

【当社 第92期(2018年7月～2019年6月)の取り組み目標と実績】

取り組み目標	実績	評価
産業廃棄物の原単位5%削減	生産増により目標未達成	△
電気使用量の原単位1%削減	11%削減で目標達成	◎
環境負荷低減型の商品を10品種以上開発	10品種以上の開発を実施	○

※　評価：◎＝目標を大幅に上回る成果があった
○＝目標を達成、順調に推移した
△＝積極的に取り組んでいるが目標達成出来ず
×＝活動が不十分で目標未達成

当社、第93期(2019年7月～2020年6月)の環境目標は、産業廃棄物の削減、電気使用量の削減、環境負荷低減型の招魂開発に取り組みます。

【環境配慮型の商品】

製品だけでなく生産に使用している溶剤糊を水生化へ変更し布とゴムを貼り合せする生産工程にて発生するVOCガス(揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds）)の削減も推進しています。

また、靴の包装材削減など製品設計段階からも廃棄物の削減、使用抑制、エコ化に取り組んでいます。

7. 主な環境活動

久留米本社では、ISO14001・2015 年版の環境マネジメントシステムを運用し環境関連業務、省エネ、省資源および廃棄物の削減など地球環境保全に配慮した取り組みを進めています。

(1) 環境コミュニケーション

① 環境共生都市づくり協定書

ムーンスターは、久留米市と持続的発展が可能な環境共生都市・久留米の実現をめざし、環境共生都市づくり協定を締結しています。環境負荷低減計画や排水、騒音の測定をおこない久留米市へ報告しています。

② 環境管理委員会議

定期的に環境管理委員会を開催し、会議では環境目標の進捗管理、法的要求事項の順守報告、最近の環境トピックスの紹介等をしています。

③ ISO 通信の発行

ISO 事務局では、ISO 活動に関する事、産業廃棄物に関する事、環境関連のニュース等を当社の社内 LAN に掲示して環境に関する情報を掲示しています。
この活動は、2000 年 1 月から続けています。

(2) リサイクルの推進

持続可能な循環型社会の構築のために、3R（リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル（Recycle））を推進しています。
産廃処理していたものを分別し、地元の協力企業に資源として引き取ってもらう事を進めています。現在のリサイクル率は91%ですが、最終埋め立て処分量をゼロとする“廃棄物ゼロエミッション”に取り組んでいます。

(3) 緊急事態への対応

ムーンスターでは年 3 回、消防総合訓練(消火、通報、避難の訓練)を実施しています。
自衛消防隊による消火訓練、社員全員参加の非難訓練、そして新入社員へは消火器の使い方の教育訓練をおこないました。
また、工場部門ではタンクから有機溶剤が漏れたという想定での緊急事態訓練を年 1 回実施しています。

(4)美化運動

久留米本社では工場周辺の清掃活動や花いっぱい運動を定期的に実施しています。
また、自治体主催のノーポイ運動(10/28 日曜日)には、21 人参加しました。
これからも社内外の美化運動にも積極的に参加していきます。

(5) 工場排水の水質検査結果

平成 30 年 10 月 31 日に、久留米市による工場排水の抜き打ち検査がありました。
結果は下記の通り問題はありませんでした。
今後も工場排水の水質保全管理を継続していきます。

項　目	基準値	第一工場の排水	第二工場の排水
水素イオン濃度(PH)	6.0～8.4	7.0	7.2
生物化学的酸素要求量(BOD)	10 以下	<0.5	2.2
浮遊物質量(SS)	15 以下	<1	8
油分(ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質)	2.5 以下	<0.5	0.6

単位：PH は無し。それ以外は mg/ｌ。

8.環境関連法の順守状況

リスク管理のために以下の取り組みを実施し、毎年、内部環境監査で確認しています。

- 法令に基づく管理者・責任者などを設置し、日常点検・監視・測定を実施
- 法的要求事項順守管理票/順守評価記録にて定期的な順守評価の実施
- 現場の巡視活動
- 業務上必要な教育研修
- 法令改正動向の調査と関係者への周知

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はなく関係当局からの指摘、指導もありませんでした。

以上